1995~1996年度日テーマ

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

青い空 緑の山と風 黄色のうねりは 人類の理想 文化を表わす。 それらが混然一体調和して ロータリーの理想に向って 昂って行く姿を示している。

原点に帰りロータリーの心を学ぼう 親膝と奉仕でクラフの和

# 第275回例会報告(6/26)

(1995年~1996年度第48回例会)

司会

SAA委員会委員長

佐伯 和廣

敏

◎点鐘

会長 萩生田茂夫

◎ロータリーソング ソングリーダー 菊池

「奉仕の理想」

◎お客様紹介

会長 萩生田茂夫

由井 重光様 (特別代表)

由井 照子様 (特別代表令夫人)

福井 孝様(東京多摩ロータリークラブ会長)

高野 隆夫様(東京多摩ロータリークラブ幹事)

隆様(GSE派遣生) 新倉

宿院 利幸様 (新会員候補者)

宋 珉煐様 (米山奨学生)

メッテ・アルス・オールセン様(交換学生)

和気真知子様(交換学生 和気真菜様母上)

小野 直美様(交換学生)

三好 雄二様 (交換学生)

#### ◎会務報告

会長 萩生田茂夫

- ① カナダでの国際大会に由井特別代表を団長として参 加して参りました。
- ② 卓話をしていただいた見城美枝子様から礼状が届い ております。

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No. 275 648 1996.7.3 発行

# Weekly Report



#### ◎幹事報告

幹事 橋口 洋三

- ① 1995~96年度地区大会余剰金 7.217.146円は、長野冬期オリンピック大会並びに米 山梅吉記念館に全額寄付することに決定しました。
- ② カナダカルガリー国際大会報告 6月18日から6月25日まで、由井団長、赤尾副団長の もと、港南RC伴様、稲城RC7名、当クラブ15名 合計25名で行ってきました。

## ◎来賓ご挨拶 東京多摩RC会長福井 孝様 今年度は、GSE歓迎三クラブ合同例会、ときめきのイ ブニングパーティーをこの会場で行い、大変お世話にな りました。私共のクラブも、昨日、最終例会を終えまし た。1年間何とか無事に責任を果たすことができました。

◎次年度会務報告 次年度会長 遠藤 二郎 第1回理事会を、第1回例会日11時30分より開催します。

皆様に御礼申し上げます。

## 奥木博勝様退会式

会長 萩生田茂夫

チャーターメンバーとして、大活躍いただきありが とうございました。

どうぞ、身体に気をつけて頑張って下さい。

## 東京多摩グリーンロータリー・クラブ

長: 萩生田茂夫

会報委員長:小城 章員

事:橋口 洋三

副委員長: 吉尾警太郎 山崎 光一

員平野行廣·飯島裕美·根本泰守

関岡俊二·城倉正博·戸田昭寿

例会場 多摩そごう7F バンケットルーム

事務局:東京都多摩市落合1-9-1 多摩センタービル7階

TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

# 委員会報告

## ◎ニコニコBOX親睦活動委員会委員 奥木 博勝

由井重光様

福井 孝様

高野隆夫様

萩生田茂夫: 国際大会では、皆様にお世話になりました。 一年間大変お世話様になりました。次年度

の発展をお祈り申し上げます。

橋口 洋三:カナダ カルガリー国際大会が何から何ま

で全て全部すばらしかったので。

本日が最終例会、1年間ご協力ありがとうございました。一生懸命やりましたが、頼りない気がきかぬ幹事でクラブに迷惑をかけたので。次週から遠藤、須藤年度、ますますクラブが発展するように、私は出席委員会、クラブが発展するには出席が一番大事です。

杉田 誠:国際大会参加の皆様元気で何よりです。

赤尾 恭雄:すばらしい国際大会とカナダの大自然とふ

れ合う機会を得たことに感謝して。

猪股 末男:最終例会なので。

関岡 俊二: 萩生田会長、橋口幹事、1年間ご苦労様。

伊神 稔:最終例会を迎えて。

城倉 正博:楽しい一年間ありがとうございました。

田畑 博: 萩生田会長1年間ご苦労様でした。

遠藤 立一:新旧役員の方々、ご苦労様です。

森田 舞子: 今年度もやって今日で終わりです。会長、

幹事、役員、理事の方はじめ、クラブの皆様のご協力と暖かいお心で無事終わりました。 まいがとるございました

た。ありがとうございました。

宮本 誠: 萩生田会長、橋□幹事、役員、理事の皆様、 大変ご苦労様でした。最終例会に雨ですが、

水不足には良かったですね!。

大熊 將夫:会長、幹事をはじめ理事の皆様一年間ご苦

労様でした。私もプログラムの委員会のメ ンバーに支えられ、私の思ったことができ ました。委員の皆様ありがとうございまし

tco

足立潤三郎: 最終例会に沢山のお客様をお迎えして。

高村 弘: 萩生田会長、橋口幹事長い間、ご苦労様。

須藤 起雄:本年度最後の例会で。

海野 栄一:今年度、役員理事、萩生田会長、橋□幹事、

ご苦労様でした。

中山 恒雄:会長、幹事、理事の方々、一年間ご苦労様

でした。

北村 幸彦:カルガリー旅行では家内が大変お世話にな

りました。奥木さん残念です。お元気で。

藤本 吉文:最終例会ですね。奥木様、大変ご苦労様。

奥木 博勝:大変お世話になりました。後任の宿院様を

宜しく。とても淋しいです。シクシク。

菊池 敏: 奥木様の顔の見納め、ご苦労様でした。お

元気でね。

小林 和夫:オクギサンオセワニナリマシタ。村上サン、

パートナートシテ、オセワニナリマシタ。

本日合計 金158,393円 本年度累計 金1,513,857円

#### ◎出席報告 出席委員会副委員長 小坂 一郎

会員総数	55名(1名出席免除者)
出席者数	48名
本日出席率	88.89%
6/12出席率	81.48%

■メークアップ 1名

坂田 育男 (6/20 東村山)

■欠席届出者 5名

飯島 裕美 風間 茂穂 奥田 文夫

坂田 育男 新海源四郎

■欠席者 1名

伊東 巌

#### 100% 山皮丰彰

			100%日	出席表彰	4		
	赤尾	恭雄	遠藤	立一	萩生田	萩生田茂夫	
	橋口	洋三	伊神	稔	菊池	敏	
	小坂	一郎	小城	章員	宮本	誠	
	村上	久	大熊	將夫	須藤	起雄	
	杉田	颉	杉山	英巳	田中	實	
	海野	栄一	吉沢	洋景	長谷川	明宏	
	杉野流	法保子					
					ご苦労特	をした。	

# 退任挨拶

### 会長 萩生田茂夫

1995~96年度最終例会にあたり御礼と御挨拶を申し上げます。

一昨年度会員総会に於いて会長エレクトに指名を受け、 実は私大変なやんだわけでございます。というのも、私達 のクラブもすでに50名という大きな世帯と自分自身が浅学 非才で如何にして会員皆様とコミュニケーションが測れる か、事業が全う出来るか? しかしながら幸いに会員皆様 の深い御理解と御協力、又優秀な幹事、副会長を始め役員 理事に恵まれ、大過なく年度が終わろうとしています。

良く申される様に物事は過ぎて短く行って長しといわれる様に、私の気持ちも今何か一つ物足りず何かやり残した事があるような長かったような短かったような、大変複雑な気持ちです。会員皆様の温かい友情と御協力を基盤に、創立5周年事業、留学生受入等々初めての事業経験では周年事業には皆様お一人お一人のご協力、留学受入れには、スポンサーの御家族の御支援を賜り大過なく過ごさせていただきました事、厚く御礼申し上げます。次年度は遠藤会長、須藤幹事の我がグリーンロータリークラブは奉仕と信念をもとに一歩一歩歩く一年に理解と友情を深め、成長して行くものと確信致しまして、最後に会員御家族の皆様の健康を御祈り申し上げまして、挨拶とさせて頂きます。

#### 幹事 橋口 洋三

幹事退任挨拶で幹事の肩書を降ろすこがと出来て、ほっとしている心境です。昨年の今頃は私に務まるだろうかと、 責任と不安が募り、ちょっとしたパニック状態でした。ロータリーの慣習で指名受諾の原則があり、ノーと言えず、会 員の皆様には頼りない幹事で不行き届きの点ばかりで、この1年皆様よく辛抱して下さいました。これもロータリーに免じて寛容の心でお許し願いたいと思います。

本年度の活動を振り返りますと、会長方針が "親睦と奉 仕でクラブの和を深めよう" に対して幹事は "ツー・ウェ イにたった心の交流" と活動報告書の中で言わせて頂きま したが、いかがだったでしょうか。

・前年度から準備した創立5周年記念事業があり、8月9日(水)パルテノン多摩大ホールで明大マンドリンのチャリティー演奏会を行い、会員の皆様の熱意と意気で多摩市民1,300名以上の参加を得て成功裡に終わり、収益金全額494,567円を多摩市の社会福祉へ寄贈しました。記念式典は9

月13日(水)パルテノン多摩小ホールで行い、懇親会は5階の3つの部屋を工夫して行いました。

- ・本年度はロータリーの定款、細則の改正があったのでクラブ細則11条会員選挙の方法の改正を多摩グリーンRCに即した改正をして頂きました。
- ・親睦旅行は10月に厚木の飯山温泉に行き、そこでシニア・ アクティブ会員になった、横倉(舜)会員、田中会員、赤尾 会員に形ばかりの記念品をさし上げました。
- ・例年通りクリスマス懇親会を開催して、チャリティーオークションの売上金162,000円をクラブの青少年交換委員会へ寄贈しました。
- ・広報関係では5周年記念のチャリティー演奏会で会員の 職業理念を掲載したパンフレットを配布しました。火災予 防運動、防災週間等に多摩消防署、横断歩道に掲げる多摩 グリーンRCの名前入りの横断幕、懸垂幕を作成しました。
- ・職業奉仕関係では多摩消防署梯子隊に花見例会で、職業 奉仕賞の表彰、「わかりやすい職業宣言」を会員に配布、 「四つのテスト」のロータリーソングを歌いました。
- ・社会奉仕関係では日の出町ゴミ処理場見学、特別養護を 人ホームへゲーム台購入の寄付をしました。
- ・国際奉仕関係では青少年交換の来日学生をデンマークか ら受け入れました。

派遣学生の鈴木なつみさんーブラジル、小野直美さんーアメリカ、和気真菜さん一タイ、次年度に派遣する三好雄二君も決まっています。この6年間で派遣交換学生が7人になりました。GSE来日メンバーを3クラブ合同例会にて歓迎しました。後、活動ではないが事務局を京王プラザホテル多摩の5階に移転しました。

本年度は幹事をさせて頂いたお陰で、クラブ内ではほとんど全員の方々とお話し合いが出来、クラブ以外でも、会長幹事会、分区連絡会、周年事業等でいるいろの人にお会い出来てロータリーの友達が出来ましたので感謝しています。特に親クラブの多摩RC、兄弟クラブの稲城RCの幹事とは幹事同志、心をゆるせる友達になりました。いろいるな経験をさせて頂きました事は私にとって大きな財産となりました。

次年度、遠藤、須藤年度は多摩グリーンRCにとって、 良い年度になる事を祈願して退任の挨拶にします。

本当にありがとうございました。

# ~写真で綴るこの1年~



萩生田・橋口年度のはじまり



五周年記念式典創立



交換学生



最終例会 (懇親会) スナップ



ガバナー公式訪問(丸山宏 ガバナーの卓話)



チャリティーコンサート(明治大学マンドリン倶楽部)



次年度役員と理事



最終例会 (懇親会) スナップ

1年間の会報の発行が終わり、ホッとしています。山崎さん、平野さん、飯島さん、根本さん、関岡さん、城倉さん、戸田さん、それに写真担当の佐伯さん、ご苦労様でした。と同時に無理なお願いをしたこともあり、ありがとうございました。

いろいろな企画がありながら、果たせなかったことに多少の悔いはありますが、委員会の会員のご協力で1年完走することができました。

最後に、途中交代で費用的にも厳しい中、ご協力いただいたノーユー印刷株式会社様、中でも、ご担当の河原様、永原様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました

クラブ会報委員長 小城 章員

# 最終例会に寄せて

交換留学生 和気 真菜

こんばんは。いよいよあさって、タイへ出発することになりました、和気真菜です。当初、出発は8月の予定でしたが、急に6月中に発つことになり、今月に入ってからは、とても忙しい毎日でした。しかし、ロータリーの方々をはじめ、両親、親戚、友達の協力を得て、どうにか準備をすすめることができました。

去年の9月に私の派遣先がタイに決まった時、私の中である程度タイという国に対するイメージがありました。それは、ほとんどの日本人が持っているイメージとおそらく同じだったと思います。しかしそれは、何の根拠もなく、ただのイメージにすぎない、ということを今までの9ヶ月間に知らされました。というのも、2750地区からのタイへの派遣は私が初めてで、前例もなければ先輩もいないので、情報収集やタイ語を学ぶことはとても困難でとまどいました。

そこで私は、自分がタイについて、どんなことでもいいから知りたい、ということを様々な場所でアピールし、タイについての本を読み、タイが取り上げられているテレビ番組を見ました。すると、最初の頃は、何の効果も見られなかったのですが、ある時から私のアピールに対する返事が返ってくるようになったのです。「私、タイ人の知り合いいるよ。電話番号教えてあげようか。」とか、「うちに今、タイ人の留学生がいますが、会ってみませんか?」とか、それまで仲良くしていても、全く話には出さなかった友達が、「え、私のいとこ、タイに1年間留学してたよ。」など、探してみれば、タイと何かしら関係のある人は、結構いるものでした。そして1人、タイの人を紹介してもらうと、またその友達、その人の知り合いと、どんどんつながっていくもので、人脈というのはすごいな、と思いました。

そうこうして、いろいろな人と会ってみたり、話してみたりしていくうちに、私の中のタイについての知識はどんどん膨らんでいき、それまで自分の中にあった、古い、或いは間違った情報はどんどん置き換えられていきました。こうして、外国からちょっと1つの国を見つめてみるだけでも、こんなにたくさんの発見があったということは、実際その国で生活してみたら、どんなに多くの新しい発見があることでしょう。

しかし、あくまでも日本という、外国から見たタイを知ったにすぎず、20代の人と50代の人に話を聞くのでは、大分内容がずれ、あいまいな点も多いものです。ですから私は18才の目から見たタイという国を、じっくり観察してこようと思います。そして私の考え方を磨き、視野を広げられたら、と思います。

きっと帰国報告では、皆さんにちょっと驚きを与えるようなお話ができると思います。 最後になりましたが、宮本さんや田中さん、伊神さんを始め、沢山の方々がアドバイス をくださり、応援してくださったことに、とても感謝しています。両親やロータリーの方々、 その他多くの人々の協力を得て、私はここにいる、ということを忘れずに、頑張ってきます。